

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場会社名 東海染工株式会社  
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東名

TEL 052-581-8141

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,358	△18.6	△296	—	△336	—	△537	—
21年3月期第2四半期	9,040	—	△551	—	△520	—	△596	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△15.49	—
21年3月期第2四半期	△17.20	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	14,577	4,459	4,459	29.5	29.5	124.17
21年3月期	15,836	4,838	4,838	30.0	30.0	136.82

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 4,307百万円 21年3月期 4,746百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△13.1	10	—	△220	—	△490	—	△14.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 36,142,529株 21年3月期 36,142,529株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,455,431株 21年3月期 1,450,361株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 34,689,593株 21年3月期第2四半期 34,705,589株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月12日に公表しました予想数値を修正しております。業績予想に関する事項につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、これらの予想数値と異なる場合があります。

3. 平成22年3月期の期末の配当予想につきましては、当社グループを取り巻く経営環境が極めて厳しい状況下であり、今後の業績動向等を総合的に勘案した上で決定する予定のため、引き続き未定とさせていただきます。今後、配当予想を決定しましたら、速やかに開示致します。

(参 考)個別業績予想

平成 22 年 3 月期の個別業績予想(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	10,800	△19.0	△400	—	△490	—	△620	—	△17.87

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年秋の金融危機以降、政府による経済対策効果もあり持ち直しの動きが見られるものの、企業収益は低水準にとどまり、所得減少や雇用不安から個人消費の低迷が続くなど、依然として先行き不透明感が強い状況にて推移しました。

繊維業界におきましては、消費者の節約志向の更なる強まりによって、不要不急の商品である衣料品の買い控えが顕著になり、百貨店やショッピングセンターなど店頭における衣料品販売は著しく落ち込みました。また売り場での低価格化によって、企業間の価格競争が激化し、より安価なコストを求めて繊維生産の海外移転が更に進展するなど、特に当社グループが主力とする染色加工業界における受注環境は深刻さを増しております。

このような状況下、当社グループは収益改善を図るため、染色加工事業におきまして、国内では、エコ対応商品や機能商品など独自の付加価値商品の拡販を展開したほか、国内事業所再構築の一環として更なる品質向上や生産の効率化を図るためにニット加工事業の集約化を今期下半期からの実施に向けて進め、海外繊維事業におきましては、採算性を重視した営業を展開し、日本向け輸出を拡大すると共にローカル市場での受注増大にも注力しました。また非繊維事業では、社会的な需要増加を背景に成長を続ける保育サービス事業の事業拡大に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高7,358百万円（前年同期比18.6%減、1,682百万円減）と海外繊維事業は好調に推移したものの、国内染色加工事業の大幅な受注減少により減収となりました。一方、利益面は、黒字回復には至らなかったものの、海外繊維事業の大幅な業績改善効果により、営業損失296百万円（前年同期は営業損失551百万円）、経常損失336百万円（前年同期は経常損失520百万円）と前年同期と比較し損失を改善することが出来ました。また法人税等を控除した四半期純損失は、ニット加工事業統合に伴う固定資産の減損損失60百万円の発生もあり、537百万円（前年同期は四半期純損失596百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

#### ①繊維事業

染色加工部門は、受注環境の大幅悪化に対応する為、国内におきましては前期末に実施した人員適正化に加えて、工場稼働日数短縮や大幅なシフト変更など弾力的な操業体制で臨み、収益改善に努めましたが、受注数量の減少が想定を上回り、また市場での価格競争激化により売上単価も伸び悩みました。海外におきましては、タイ子会社が、前期に実施した生産合理化による採算改善効果に加えて、高単価のプリント加工の受注増加に注力した結果、収益事業として変革を遂げ5期ぶりに大幅に黒字回復を達成し、インドネシア子会社も対米向け輸出が低迷する中、インドネシア国内向けの受注を大幅に拡大させ、現地通貨ベースでは前年同期比45.9%増の増収を達成しました。これらの結果、海外事業の業績は堅調に拡大させることが出来ましたが、国内染色加工事業における売上不振の影響により、染色加工部門の売上高は4,228百万円（前年同期比26.5%減、1,527百万円減）と減収となりました。

繊維製品等販売部門は、インドネシア子会社におきまして、設備投資効果もあり、EPA（経済連携協定）を活用した日本向けの販売が拡大したものの、日本国内におきましては、百貨店売上の減少の影響により、婦人衣料用途向けのテキスタイル販売が落ち込んだほか、消費不振の影響に加え、円高進行による為替の影響もあり縫製品販売も減収となった結果、売上高は2,486百万円（前年同期比7.2%減、191百万円減）となりました。

以上の結果、繊維事業の売上高は6,714百万円（前年同期比20.4%減、1,719百万円減）となりましたが、海外事業の業績改善もあり、営業損失は321百万円（前年同期は営業損失586百万円）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

新規取扱い物件はなく、売上高44百万円（前年同期比7.6%減、3百万円減）、営業利益32百万円（前年同期比13.1%減、4百万円減）となりました。

#### ③機械販売事業

主力販売先である染色加工業界の低迷により受注が減少し、売上高61百万円（前年同期比55.5%減、76百万円減）となり、営業利益は1百万円（前年同期比79.0%減、4百万円減）となりました。

#### ④倉庫事業

景況悪化に伴う倉庫・荷受取扱量の減少により、売上高175百万円（前年同期比27.3%減、66百万円減）、営業損失11百万円（前期同期は営業利益7百万円）となりました。

#### ⑤保育サービス事業

保育園の受託運営増加や病院等における託児所の新規開設により、売上高528百万円（前年同期比21.6%増、93百万円増）となりましたが、事業拡大を目的とした先行投資による経費増加もあり、営業利益は22百万円（前年同期比35.8%減、12百万円減）となりました。

#### ⑥システム事業

企業のシステム開発への設備投資抑制の影響により市況が大きく悪化し、売上高61百万円（前年同期比49.2%減、60百万円減）となりましたが、経費圧縮により、営業損失は23百万円（前年同期は営業損失47百万円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次の通りであります。

①日本

非繊維事業におきまして、保育サービス事業が順調に売上を拡大しましたが、主力の繊維事業におきまして、消費の冷え込みから受注が大幅減少し、業績が低迷した結果、売上高は5,558百万円（前年同期比21.9%減、1,562百万円減）、営業損失は472百万円（前年同期は営業損失560百万円）となりました。

②東南アジア

タイ子会社が、前期に実施した生産合理化の効果やタイ国内での受注を安定的に確保したことにより、黒字回復したことに加えて、インドネシア子会社も、日本向け輸出やインドネシア国内向け受注を順調に伸ばし業績を拡大しました。その結果、売上高は、円貨への為替換算の影響もあり、1,928百万円（前年同期比5.7%減、117百万円減）となりましたが、営業利益では189百万円（前年同期比766.9%増、167百万円増）と大幅に増益となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は14,577百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,258百万円減少しました。これは主に現金及び預金の減少361百万円、受取手形及び売掛金の減少758百万円等によるものです。一方、負債は10,118百万円となり、前連結会計年度末と比較し、879百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金の減少465百万円、社債の増加260百万円、未払費用の減少562百万円等によるものです。また純資産は4,459百万円となり、前連結会計年度末と比較し、378百万円減少しました。これは主に資本剰余金の減少639百万円、利益剰余金の増加83百万円、その他有価証券評価差額金の増加86百万円等によるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、営業活動により164百万円の減少、投資活動により304百万円の減少、財務活動により0百万円の減少となった結果、前連結会計年度末と比較し、361百万円減少し、1,600百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失393百万円を計上しましたが、売上債権の減少786百万円、仕入債務の減少額519百万円、未払費用の減少592百万円等により、164百万円の支出（前年同期は81百万円の収入）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出311百万円、国庫補助金の受入額18百万円等により、304百万円の支出（前年同期は96百万円の収入）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金増加による収入65百万円、長期借入金の返済による支出326百万円、社債の発行による収入295百万円等により、0百万円の支出（前年同期は543百万円の支出）となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取巻く経営環境は、景気の二番底が懸念される中、主力の繊維事業におきましては、市況の先行き不透明感から急激な需要回復は見込めず、また円高進行の影響もあり、更に厳しい状況にて推移すると考えられます。このような状況下、第3四半期以降には、国内染色加工事業の再構築の一環であるニット加工事業の集約化や優良顧客との戦略的取り組みによる効果、また海外繊維事業にてEPA(経済連携協定)を背景に日本向け輸出を更に拡大するなどの業績改善が見込まれ、連結における営業利益では黒字回復を達成出来る見込みであります。第2四半期までの損失を回復するまでは至らないと予想しております。

以上の結果、通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月12日発表の予想を、売上高15,000百万円、営業利益10百万円、経常損失220百万円、当期純損失490百万円と修正しております。

また、通期の個別業績につきましても、平成21年5月12日発表の予想を、売上高10,800百万円、営業損失400百万円、経常損失490百万円、当期純損失620百万円と修正しております。

当該業績予想の修正の詳細につきましては、同日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が1月31日であったTKサポート株式会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、同社が決算日を3月31日に変更したことにより、当第2四半期連結累計期間は平成21年2月1日から平成21年9月30日までの8ヶ月間を連結しております。

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,600,658	1,962,469
受取手形及び売掛金	3,174,767	3,933,588
商品及び製品	317,163	408,788
仕掛品	351,902	361,900
原材料及び貯蔵品	351,294	378,974
繰延税金資産	28,365	25,964
その他	342,895	400,784
貸倒引当金	△3,221	△2,737
流動資産合計	6,163,826	7,469,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,875,349	1,725,640
機械装置及び運搬具（純額）	2,480,523	2,512,626
土地	1,814,580	1,803,839
建設仮勘定	133,824	276,496
その他（純額）	69,279	62,723
有形固定資産合計	6,373,558	6,381,326
無形固定資産		
のれん	26,679	31,877
その他	29,925	30,446
無形固定資産合計	56,605	62,323
投資その他の資産		
投資有価証券	1,724,201	1,583,883
繰延税金資産	13,237	12,088
その他	248,856	333,108
貸倒引当金	△2,296	△6,059
投資その他の資産合計	1,983,999	1,923,021
固定資産合計	8,414,162	8,366,671
資産合計	14,577,988	15,836,405

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,900,963	2,366,488
短期借入金	3,683,944	3,510,832
未払法人税等	66,516	46,453
賞与引当金	23,800	17,100
その他	963,889	1,634,094
流動負債合計	6,639,114	7,574,969
固定負債		
社債	240,000	—
長期借入金	805,053	1,120,823
退職給付引当金	1,795,608	1,790,050
役員退職慰労引当金	311,717	316,451
負ののれん	22,661	25,898
その他	304,523	169,989
固定負債合計	3,479,566	3,423,213
負債合計	10,118,680	10,998,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	2,413,074	3,052,621
利益剰余金	△1,144,548	△1,228,547
自己株式	△332,181	△331,666
株主資本合計	5,236,343	5,792,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	145,527	59,242
為替換算調整勘定	△1,074,767	△1,104,962
評価・換算差額等合計	△929,239	△1,045,720
少数株主持分	152,205	91,535
純資産合計	4,459,308	4,838,222
負債純資産合計	14,577,988	15,836,405

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	9,040,868	7,358,734
売上原価	8,587,119	6,794,443
売上総利益	453,749	564,290
販売費及び一般管理費	1,005,380	861,254
営業損失(△)	△551,630	△296,963
営業外収益		
受取利息	8,665	2,095
受取配当金	25,870	21,965
負ののれん償却額	—	3,237
為替差益	—	26,495
有価証券償還益	122,355	—
雑収入	31,821	22,680
営業外収益合計	188,712	76,474
営業外費用		
支払利息	62,472	38,391
退職給付費用	62,554	62,554
為替差損	9,912	—
雑支出	22,692	15,115
営業外費用合計	157,632	116,062
経常損失(△)	△520,550	△336,551
特別利益		
固定資産売却益	10,320	—
投資有価証券売却益	6,285	—
移転補償金	20,000	—
貸倒引当金戻入額	2,942	3,123
特別利益合計	39,548	3,123
特別損失		
減損損失	—	60,119
事務所移転費用	5,825	—
特別損失合計	5,825	60,119
税金等調整前四半期純損失(△)	△486,827	△393,548
法人税、住民税及び事業税	42,459	63,024
法人税等調整額	40,987	33,573
法人税等合計	83,447	96,597
少数株主利益	26,645	47,318
四半期純損失(△)	△596,920	△537,464

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△486,827	△393,548
減価償却費	319,918	305,972
有価証券償還損益(△は益)	△122,355	—
移転補償金	△20,000	—
減損損失	—	60,119
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,390	5,557
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,942	△3,298
賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,200	6,700
受取利息及び受取配当金	△34,535	△24,060
支払利息	62,472	38,391
為替差損益(△は益)	△9,890	△66,542
有形固定資産売却損益(△は益)	△10,320	—
売上債権の増減額(△は増加)	963,748	786,291
たな卸資産の増減額(△は増加)	83,716	175,707
仕入債務の増減額(△は減少)	△397,460	△519,915
未払費用の増減額(△は減少)	△64,715	△592,125
その他	△99,593	114,440
小計	143,406	△106,309
利息及び配当金の受取額	34,535	24,060
利息の支払額	△63,120	△37,140
移転補償金の受取額	20,000	—
法人税等の支払額	△53,446	△45,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,375	△164,601
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	304,400	—
補助金の受取額	111,022	18,483
有形固定資産の取得による支出	△357,617	△311,206
有形固定資産の売却による収入	12,760	—
投資有価証券の売却による収入	11,139	480
その他	14,876	△12,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	96,581	△304,656
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△161,701	65,091
長期借入れによる収入	100,000	5,224
長期借入金の返済による支出	△337,000	△326,324
社債の発行による収入	—	295,775
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△982	△515
配当金の支払額	△103,484	△201
その他	—	57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543,168	△891
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,877	34,227
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△385,089	△435,922
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,212	1,962,469
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	74,111
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,390,123	1,600,658

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	繊維事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	機械販売 事業 (千円)	倉庫事業 (千円)	保育サー ビス事業 (千円)	システム 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客 に対する 売上高	8,434,156	39,729	13,264	34,440	434,416	82,765	2,095	9,040,868	-	9,040,868
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	189	8,918	123,961	207,091	-	39,293	-	379,454	(379,454)	-
計	8,434,346	48,647	137,226	241,532	434,416	122,058	2,095	9,420,323	(379,454)	9,040,868
営業利益又 は営業損失 (△)	△586,327	37,547	5,591	7,082	35,250	△47,918	△3,057	△551,830	200	△551,630

(注) 1. 事業の区分方法は、製品の種類及び性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業……………天然繊維織物加工、合成繊維織物加工、編物加工、技術指導料、買取二等反売上、テキスタイル（衣料関連、インテリア関連、スポーツ関連等）、縫製品（パンツ、パジャマ、カジュアルシャツ等）
- (2) 不動産賃貸事業……事業用土地、店舗、駐車場、住宅、保養施設の賃貸
- (3) 機械販売事業……………染色関連開発機器・工業薬品の分析装置の販売等
- (4) 倉庫事業……………繊維製品等の荷役・保管等
- (5) 保育サービス事業…ベビーシッターサービス、託児所での保育サービス
- (6) システム事業……………ソフト開発の請負等
- (7) その他の事業……………包装資材販売等

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	繊維事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	機械販売 事業 (千円)	倉庫事業 (千円)	保育サー ビス事業 (千円)	システム 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客 に対する 売上高	6,713,880	36,037	35,553	17,528	528,403	25,980	1,350	7,358,734	-	7,358,734
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	1,013	8,918	25,554	157,983	-	35,970	-	229,439	(229,439)	-
計	6,714,893	44,955	61,107	175,511	528,403	61,951	1,350	7,588,174	(229,439)	7,358,734
営業利益又 は営業損失 (△)	△321,176	32,620	1,175	△11,518	22,629	△23,438	1,544	△298,163	1,200	△296,963

(注) 1. 事業の区分方法は、製品の種類及び性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業……………天然繊維織物加工、合成繊維織物加工、編物加工、技術指導料、買取二等反売上、テキスタイル（衣料関連、インテリア関連、スポーツ関連等）、縫製品（パンツ、パジャマ、カジュアルシャツ等）
- (2) 不動産賃貸事業……事業用土地、店舗、駐車場、住宅、保養施設の賃貸
- (3) 機械販売事業……………染色関連開発機器・工業薬品の分析装置の販売等
- (4) 倉庫事業……………繊維製品等の荷役・保管等
- (5) 保育サービス事業…ベビーシッターサービス、託児所での保育サービス
- (6) システム事業……………ソフト開発の請負等
- (7) その他の事業……………包装資材販売等

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,997,977	2,042,891	-	9,040,868	-	9,040,868
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	123,163	2,617	-	125,781	(125,781)	-
計	7,121,141	2,045,508	-	9,166,649	(125,781)	9,040,868
営業利益又は営業損失（△）	△560,746	21,887	△13,543	△552,402	772	△551,630

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 東南アジア……タイ・インドネシア

(2) 北米……アメリカ

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,437,766	1,920,968	-	7,358,734	-	7,358,734
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	120,460	7,199	-	127,660	(127,660)	-
計	5,558,227	1,928,167	-	7,486,395	(127,660)	7,358,734
営業利益又は営業損失（△）	△472,118	189,747	△16,191	△298,562	1,599	△296,963

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 東南アジア……タイ・インドネシア

(2) 北米……アメリカ

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	734,371	880,179	721,674	2,336,225
II 連結売上高（千円）				9,040,868
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	8.1	9.7	8.0	25.8

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国・韓国・その他

(3) その他の地域…欧州・中近東・豪州・中南米・アフリカ・その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の仕向地により区分した売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	649,197	691,051	534,589	1,874,839
II 連結売上高（千円）				7,358,734
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	8.8	9.4	7.3	25.5

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国・韓国・その他

(3) その他の地域…欧州・中近東・豪州・中南米・アフリカ・その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の仕向地により区分した売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

欠損填補に充てるため、資本剰余金639,547千円を利益剰余金に振り替えております。